



生産性向上支援訓練利用者の声

株式会社飯野製作所 様

利用コース：

『品質管理基本』

『品質管理実践』

支援の流れ：

●課題・要望等

生産部門の喫急の課題として「従業員の品質保証に対する共通の理解・認識」が必要である。

●提案内容

初回コースでは、3つの工場の従業員が品質保証に対する基礎知識を学び、共通認識が得られるように「品質管理基本」コースを提案・実施。

続いて3つの工場のリーダークラスの従業員が、品質を維持・改善するための管理手法を学び、現場で実際の品質改善活動に役立つ内容で行いたいとの要望を受け、「品質管理実践」コースを提案・実施。



株式会社飯野製作所（大宮工場）



【事業主の声】 事業主アンケートにて高い評価をいただきました☆☆☆☆☆

当社の主な事業は、自動車・オートバイ・汎用機（発電機・船外機等）のエンジン、及びミッションに組み込まれる機械加工精密部品やプレスによる曲げ加工を施したパイプ部品の製造・販売を行っています。

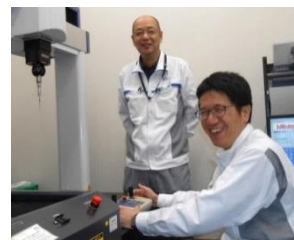
これまで、QCサークル活動や社内改善活動を実施してきましたが、製造現場で実際の改善に即繋がる実践的なセミナーが必要だと常々考えていました。今回の「品質管理基本」、続いての「品質管理実践」では基本的な改善の手法から実践的な問題解決手法まで丁寧な指導を頂きました。受講者は新たな改善手法が学べたことで、現場の改善活動に活かそうとしており、継続的な品質改善活動にプラスαとなっています。受講時間は足りない点もありましたが、講習テキストが充実しており、各自で手法を学び直すことで、今後、より良い品質改善活動に繋がっていくと確信しています。



品質保証部 部長 湯田様(右)
管理部総務課 課長 田中様(左)

【受講者の声】 受講者アンケート満足度調査にて高い評価をいただきました☆☆☆☆☆

当社は、「社外クレーム件数及び工程内不良の削減」を品質目標とし、方針会議等で目標管理を行い、毎日関係部署参画による品質井戸端会議や品質パトロールを行って改善活動を進めています。2018年12月末現在、社外クレーム件数は低減傾向ですが、工程内不良削減については、蓄積データを集計し一部活用は行っているものの、その分析や検証活動が中々進んでいないのが現状です。今回の訓練のグループワークでは、当社で実際に発生した品質問題をテーマに実践的な品質問題解析手順を学ぶことができました。特に自分達が過去に行った分析手法や対策を再考することで、不具合事象のアプローチや原因の考え方に問題点や気づきを確認出来たのは、大きな収穫でした。今後、品質目標を達成させるために、今回学んだ再発防止手順を社内に広く展開して改善活動を推進して行きたいと思っております。



品質保証課 主任 池田様(右)



- ・QC手法についてこれまでの進め方と少し違う所が有り、参考になった。
- ・不良発生・流出対策の解決するための手段を学べた。
- －受講者アンケートより抜粋－

